

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【公表番号】特表 2020-531403 (P2020-531403A)

【公表日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-045

【出願番号】特願 2020-512488 (P2020-512488)

【国際特許分類】

C 0 5 G 5/12 (2020.01)

B 0 1 J 2/00 (2006.01)

【F I】

C 0 5 G 5/12

B 0 1 J 2/00 C

B 0 1 J 2/00 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 28 日 (2020.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒状肥料コア；前記粒状肥料コアの表面に形成され、オレフィン系樹脂を含む被覆層；および前記被覆層上に付着され、ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテルを含む添加剤を含む、溶出制御型肥料。

【請求項 2】

前記オレフィン系樹脂は、ポリオレフィンまたはオレフィンとエチレンビニルアセテート共重合体である、請求項 1 に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 3】

前記ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテル中の疎水基の分子量は、重量平均分子量として 50 ～ 300 である、請求項 1 または 2 に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 4】

前記ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテル中の疎水基は、全体ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテルの重量に対して 30 ～ 70 重量％で含まれる、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 5】

前記ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテル中の親水基は、全体ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテルの重量に対して 30 ～ 70 重量％で含まれる、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 6】

前記ポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテル中の親水基の分子量は、重量平均分子量として 100 ～ 1000 である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 7】

前記添加剤の投入量が、肥料の全体重量に対して 0.001 重量％～ 0.5 重量％である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 8】

前記添加剤は、無機粉体をさらに含む、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 9】

前記無機粉体は、比表面積が $100 \text{ m}^2 / \text{g} \sim 500 \text{ m}^2 / \text{g}$ である、請求項 8 に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 10】

前記無機粉体は、粒度が $1 \mu\text{m} \sim 500 \mu\text{m}$ である、請求項 8 または 9 に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 11】

前記無機粉体は、ヒドロキシル基を有する親水性無機粉体である、請求項 8 から 10 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 12】

前記無機粉体は、肥料全体重量に対して $0.01 \text{ 重量}\% \sim 1 \text{ 重量}\%$ である、請求項 8 から 11 のいずれか一項に記載の溶出制御型肥料。

【請求項 13】

i) 粒状肥料コアの表面をオレフィン系樹脂を含む被覆組成物で被覆して被覆層を形成する段階；および

ii) 前記被覆層上をポリオキシエチレンアルキル（-アリール）エーテルを含む液状添加剤で被覆する段階を含む、溶出制御型肥料の製造方法。

【請求項 14】

前記段階 ii) は、肥料全体重量に対して $0.001 \text{ 重量}\% \sim 0.5 \text{ 重量}\%$ の液状添加剤を投入する段階を含む、請求項 13 に記載の溶出制御型肥料の製造方法。

【請求項 15】

前記段階 i) は、前記粒状肥料コアを被覆して皮を形成させる段階を含む、請求項 13 に記載の溶出制御型肥料の製造方法。